

クマによる被害予防と対策

1. 軽井沢の自然とクマ

別荘地や住宅地などの人の居住地が森や山に囲まれる軽井沢町は、本来、山野で生息しているクマ等の野生動物が身近に生息している自然豊かな町です。



浅間山南麓に広がる森の街「軽井沢」



別荘地の路上に落ちたたくさんのクリやドングリ

この周辺にはツキノワグマ（以下、クマ）という、胸に白い三日月模様のあるクマが生息しています。色は真っ黒で、大きさは成獣でも大型犬より少し大きいくらい、草や若芽、キイチゴやヤマザクラ、ヤマグワ、クリやドングリ類などの植物を中心に食べる、大人しい性質のクマです。

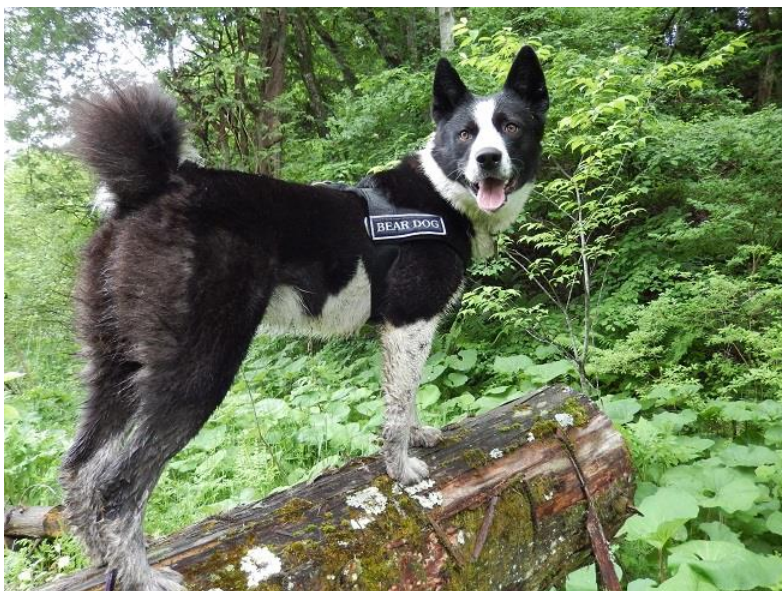


軽井沢に生息するツキノワグマ

クマの視力はあまり良くありませんが、匂いや音にはとても敏感で、さらに臆病なため、だいたい私たちがクマに気づく前に逃げていきます。ただし、風雨が強く音が消えてしまうような状況や、食べ物に夢中になっている時、まだ歩くスピードが遅い子グマを連れている時などはお互いが接近してしまうこともあり、パニックになったクマが人に怪我を負わせてしまうことがあります。

2. 軽井沢町での状況

1990年代後半の軽井沢町では、クマによるゴミ荒らしが年間100件以上発生していました。しかし、ベアドッグ（クマ対策犬）による追い払いや、問題グマを特定した上での駆除、野生動物対策ゴミ箱の導入等、総合的な対策を進めてきた結果、公共ゴミ集積所でのゴミ荒らし被害は2009年以降、ほぼ見られなくなりました。



クマ出没現場のパトロールや追い払いに活躍するベアドッグ

但し、ゴミだけがクマの誘引物になっているわけではなく、別荘地周辺に生育しているヤマグワ、クリやドングリなど、自然の食べ物もクマを引き寄せる原因になっています。“森の街”軽井沢で被害や事故を未然に防ぐには、クマが身近に生息していることを前提にして、まずは相手（クマ）のことを知り、各自で予防手段を実践することが欠かせません。

3. 私たち一人一人のできるクマの被害予防

■クマに自分の存在を知らせる

まずはクマと出会わないことが一番の予防策です。音に敏感なクマの習性を利用して、鈴などの鳴り物を携帯し、遠くから自分の存在をクマに知らせましょう。クマが人を襲う時の多くは、クマが心理的に混乱した（パニック）状態にあるときが多く、鈴等で事前に人の接近を知らせることで、そのような状況を回避させる効果も期待できます。

また、犬の散歩では必ずリードをつけましょう。飼い主のところに戻ってきた犬をクマが追いかけてきた事例もあります。



自分がいることを音でクマに伝えて、安全な距離をとってもらいましょう

もしクマ（子グマも同様）に出会ったら、クマを刺激しないように、ゆっくり、静かに、後ずさり、その場から離れてください。

■クマを引き寄せない

人の食料やゴミ、特に油や砂糖を含むものは、クマにとって最高のごちそうになります。もともと人を恐れていたクマでもこれらのものを食べると、その味が忘れられなくなり、何度もうってくるようになります。人と食物を関連づけるようになると、最悪の場合には人身事故も起こしかねません。夏場は森にクマの食べ物が少ないため、これらのものが狙われやすくなりますので、特にご注意ください。

以下は、これまでに自宅回りで報告があった主な被害品目と管理のポイントです。

□ **生ごみ（コンポストも）、食料、ペットフード**

生ごみや食料、ペットフードなどは必ず屋内で保管しましょう。野外で与えたペットの餌の食べ残しも回収してあげてください。また、コンポストにはにおいの強いもの（フルーツや肉、魚など）の投入を控え、石灰等で臭いを消すことを心がけましょう。

□ **雑排水槽**

雑排水槽には台所から流れ出た油分や残飯が溜まっていて、クマはそれらを舐めにきます。蓋が開けられないように改良することと、こまめに清掃することが最善の策です。

□ **ハチやアリの巣**

ミツバチやスズメバチ、アリの巣は、クマの好物です。これらが家周りや庭先にあるときは専門の業者の方にお問い合わせするなどして、早めに除去することをお勧めします。

□ **塗りたいのペンキ**

壁などに使用する塗料はクマを誘引することがあります。なるべくクマが活発に行動していない時期（11月～翌5月）に塗ることをお勧めします。

□ **トウモロコシ等の農作物**

トウモロコシ等の農作物は電気柵で適切に管理しましょう。電気柵資材を購入する費用は町の補助制度【補助限度額：（営農者・営農団体）30万円、（一般家庭）5万円】を受けることができますので、ぜひご利用ください。



飲食店の軒先のゴミ保管スペースに現れたクマ

4. 情報の通報先、及び入手方法

特定非営利活動法人ピッキオでは、軽井沢町からの委託を受けて、「人身事故0、被害0、クマの個体群維持」を目標に、クマの保護管理を行っております。

効果的な対策を実施するためには、早めの通報と状況把握が欠かせません。クマを目撃しましたら、安全を確保したうえで、クマの目撃場所、進行方向、サイズ、目撃頭数を下記連絡先までご提供ください。また、クマに関する情報の入手方法も併記してありますので、是非ともご活用ください。

■情報入手の方法

インターネット	軽井沢町ホームページ → 「軽井沢町 さるくま」で検索 ピッキオの活動ブログ → 「軽井沢ピッキオ日誌」で検索
情報看板	出没が続いた場合、周辺の方々に状況をお伝えするため、出没时间、対処法などを記載した看板を設置。周辺でクマ情報が1～2週間なければ、撤去。
メール配信サービス	住宅地付近でのクマ出没时间などを、随時電子メールで配信するサービス。 【登録方法】 1. メール配信を受けたい携帯電話またはパソコンから、登録用メールアドレス (karu.kuma@mpme.jp) に、件名、本文を入力せずに空メールで送信。 2. 登録案内のメールが送信されるので、このメール本文に記載された案内に従って登録操作を行い、登録完了のメールが送信されれば登録完了。

クマの目撃等の情報のご連絡、対策に関するご相談やお問い合わせ

NPO 法人ピッキオ ☎090-3585-9763、軽井沢町環境課野生鳥獣対策係 ☎0267-45-8556

(作成) 特定非営利活動法人ピッキオ